



2019年度 編入生ガイダンス

(17235編入生用)

2019年4月4日(木) 13:30~14:30

理工学部1号館南棟3F機械多目的講義室

配布物について(括られている資料)

- GPA制度について(学生用説明文)
- シラバス説明文(学生用)
- オフィスアワーについて
- 履修手続きについて
- 学生用LiveCampus利用案内
- 新入生アドバイザーによる相談
- 住所録
- 平成31年度前学期[授業時間割表]佐賀大学全学教育機構
- ①平成31年度新入生オリエンテーションにおける全学教育機構関係配布物一覧, ②学期始めの手続き等について, ③基本教養科目受講希望申請の方法について, ④基本教養科目受講希望申請書, ⑤全学統一英語能力テスト(TOEIC IP)の受験上の注意, ⑥「英語A」プレースメントテストについて, ※ホッチキス止め分
- 平成29年度全学教育機構「履修の手引き」
- 2019年度前学期理工学部授業時間割
- 専門周辺科目の履修申込について

配布物について(その他)

- 佐賀大学同窓会案内
- 菱の実
- 第4回菱実会賞募集
- 編入生, 他大学から本学大学院に進学された皆さんへ
- 安全の手引

- 平成31年度(2019年度)編入生ガイダンス
- ノートPCの購入について
- 単位認定希望科目調査用紙
- 平成31年度編入学生アンケート

学生証の発行について

- 学生証は以下の要領で配布されます
日時: 4月5日(金) 9:30~15:30
場所: 教養教育1号館 2階 124番講義室
- この時間に受領できない場合には、翌日以降に学生センターで受領してください
- 各種証明書(在学証明書等)の発行には、学生証が必要です

教務システム等説明会について

- 以下の要領で教務システム等説明会が開催されるので参加してください。

日時:4月5日(金) 14:30~

会場:教養教育運営機構 大講義室

上記の他に, 10:00, 11:00, 13:30, 15:30からの回もあります。どの回に参加しても構いません。

- 編入生対象の情報システム等の利用説明会

日時:4月5日(金) 17:00~18:00

会場:総合情報基盤センター大演習室

履修の手引き:「平成29年度 理工学部で何を学ぶか」

- 平成29年度より「履修案内」が全て電子化されました
(冊子版の配布はありません)
- 佐賀大学ホームページ→在学生の方へ→履修の手引き
から、もしくは下記のURLから直接、大学院・工学系研究科
の**H29年度版**を各自ダウンロードしてください

<http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/tebiki-h29-rikou.pdf>

単位修得が必要となる教養教育科目

「理工学部で何を学ぶか(H.29)」 p. 9

教養教育科目⇒教養教育運営機構の授業

学 科	教養教育科目							合計
	大学 入門 科目 II	共通基礎教育科目				基本 教養 科目	インター フェース 科目	
		外国語 科目	情報リテラシー 科目					
機械システム 工学科	2	英語	講義	演習I	演習II	10	0	15

- ・英語 ⇒ TOEIC等のスコアによる単位認定も可能
- ・大学入門科目IIと情報基礎演習I⇒ 単位認定は不可(必ず履修)

単位修得が必要となる教養教育科目

教養教育科目(計15単位)

(1) 大学入門科目II(2単位)

- 大学入門科目II(2単位)を履修⇒単位修得
- 単位認定は不可能
- 2020年度(来年度)前学期 金曜日 2校時
(創造工学入門と同時開講)

<注意>

- 大学入門科目I(2単位)⇒履修の必要なし

教養教育科目(計15単位)

(2) 外国語科目 (2単位)

- ・「英語」⇒ 2科目履修 ⇒ 2単位修得する.
- ・ 初回講義でプレースメントテストを受ける.
- ・ 後日クラス分けを掲示. 履修登録は各自.
- ・ 詳細は、オリエンテーション資料(教養関係)に記載.

<参考>

- ・1年生の英語⇒前期・後期 火曜日 3校時, 金曜日 2校時
- ・2年生の英語⇒前期・後期 火曜日 2校時

※英検, TOEIC等の成績により単位認定を受けることも可能
全学教育機構「履修の手引」, P.16に記載

申請受付: 教務課・教養教育教務担当窓口

受付期間: 4月5日(金)～4月12日(金)17時まで

「英語A」プレースメントテストについて

日時：4月10日(水)3校時, 又は, 4校時
(受講可能な校時に受講すること)

場所：教養教育2号館2201教室

備考：上記の時間帯に受講できない場合は,
事前に教務課教養教育教務の窓口申し出る。

2回目以降の授業について

プレースメントテストの結果を確認して、← 掲示日時・場所

●『火曜日3校時』

または,

●『金曜日2校時』

に受講する。

※他の科目の関係で受講できない場合,
教務課教養教育教務の窓口申し出ること。

火曜日受講者:4/12(金)午後
金曜日受講者:4/17(水)午後
教養教育2号館1F正面玄関
内掲示板

教養教育科目(計15単位)

(3) 情報処理科目(1単位)

- ・情報基礎演習I(1単位)を履修⇒単位修得
- ・単位認定は不可能
- ・前学期 火曜日 4校時 (再履修生用クラス)
- ・総合情報基盤センター(中演習室)に集合

<注意>

- ・情報基礎演習II(1単位)⇒履修の必要なし

教養教育科目(計15単位)

(4) 基本教養科目 (10単位)

- ・「文化の分野」「現代社会の分野」⇒合計5科目(10単位)を修得.

文化の分野 2単位以上
現代社会の分野 2単位以上 をそれぞれ含むこと

- ・「自然科学と技術」からの単位⇒10単位に参入は不可能
⇒「文化」「現代社会」の分野から履修すること

- ・開講時間⇒水曜日1, 2, 3校時と木曜日1, 2校時に開講

- ・<外国人留学生への注意>

基本教養科目「日本事情」 ⇒ 10単位に算入は不可能

単位修得が必要となる専門教育科目

・専門教育科目⇒機械システム工学科が設定した授業

(1) 専門基礎科目(必修15単位)

微分積分学など9科目⇒すべて必修

(2) 専門科目(合計77単位=必修58単位+選択19単位)

・必修科目は、卒業研究12単位を含む58単位分ある

・選択科目は、20科目以上ある中から合計19単位以上を修得する。

(3) 専門周辺科目(選択4単位)

・理系学科が開講する「理工学基礎科学」の科目1科目(2単位)を含み、合計2科目(4単位)以上を修得する

・前期・後期の火曜日1校時開講

単位修得が必要となる専門教育科目

専門周辺科目の注意点

区分I: 2~3年次を対象とする授業

「理工学基礎科学」と「理工学基礎技術」に分類

<注意>

「理工学基礎科学」の科目から2単位以上修得

⇒クロス履修と呼ぶ

・機械システム工学科教員が担当する区分Iの科目履修⇒不可

・申請期間あり, 学生センターー理工教務を訪問

⇒その場で登録(パソコン登録不可)

前学期分の履修申し込みは4月4日(木)~5日(金)18時まで

早急に学生センターへ!

・卒業のために, 最初に区分 I を履修すること!!

区分II: 3, 4年生を対象に開講する科目

⇒クロス履修の対象科目ではない

卒業要件(まとめ)

◆ 卒業要件単位：111単位

(教養教育科目15単位, 専門教育科目96単位)

◆ 教養教育科目：15単位 (理工学部で何を学ぶか(H29) p. 9)

● 編入学後に履修し単位を修得する(単位認定は出来ない)

(1) <大学入門科目II>(2単位)

(2) 外国語科目<英語>(2単位)

(3) 情報処理科目<情報基礎演習I>(1単位)

(4) 基本教養科目<「文化」「現代社会」から>(10単位)

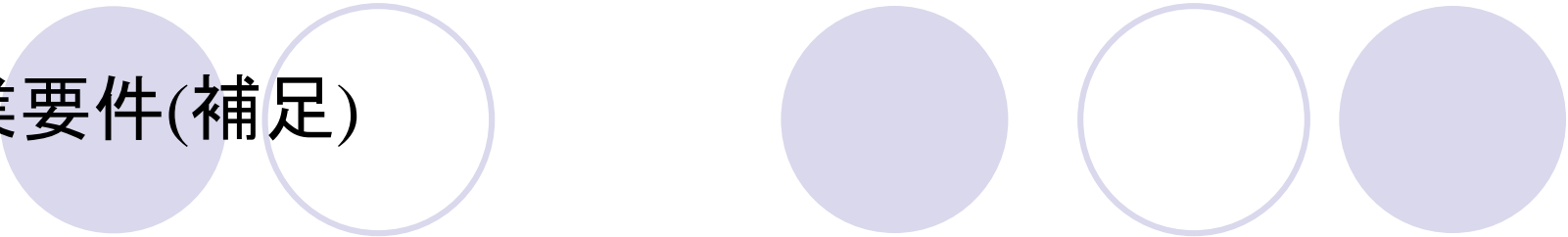
(「文化」「現代社会」をそれぞれ2単位以上含むこと)

◆ 専門教育科目(計96単位)

(理工学部で何を学ぶか(H.29) p. 23「4. 第3年次編入生の
修得すべき専門教育科目の卒業要件単位数」)

● 専門教育科目⇒最大50単位まで単位認定を受けることができる

(ただし, 専門周辺科目と他学科で開講される専門科目は認定不可)



卒業要件(補足)

他学科の授業の取扱いについて

・卒業⇒専門科目(選択)の単位⇒19単位以上が必要

・「他学科の専門科目」8単位まで

⇒機械システム工学科 専門科目(選択)

の単位とすることができる。

外国人留学生特別科目について

理工学基礎I・II, 理工学基礎演習I・II

修得単位⇒機械システム工学科 専門科目(選択)

の単位とすることができる。

卒業研究の着手要件（内規）

4年次に卒業研究を履修するためには、3年次終了時点での修得単位数が以下の基準を満たしている必要があります

1. 「卒業研究（12単位）」は必修とし、卒業要件単位に含める。
2. 「卒業研究」の履修は、原則として、次の各項を満たす者に対して認められる。
 - (1) 理工学部規則別表ならびに理工学部履修細則で定める卒業要件単位の111単位のうち、75単位以上を修得していること。なお、編入学時に単位認定された専門教育科目も修得単位とみなす。
 - (2) 3年次までに開講される「**設計・製図**」「**実験・実習**」および「**創造工学演習**」を修得していること。（創造工学演習は単位認定できない）

単位認定について(1)

- ・機械システム工学科のカリキュラムは、JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定を受けている。
- ・編入学生については、卒業時に1年次から入学した学生と同様のカリキュラムを修了していることを保証する必要
- ・高専または短大での授業内容を判定し、個別単位認定を導入
- ・機械システム工学科専門教育科目から
(専門周辺科目と他学科で開講される専門科目は除く)
最大50単位まで単位認定を受けることができる

単位認定について(2)

- ・単位認定希望科目 調査用紙の提出

調査用紙 提出期限: 4月10日(水)

提出先: 馬渡しレポートBOX

- ・単位認定の注意点

(1) 卒業校で修得した科目の単位数

≥これから認定をうける科目の単位数

(例)

・修得した科目(2単位)=認定受ける科目(2単位)→申請可能

修得した科目(2単位)<講義(2単位)+演習(1単位)→申請不可能

本学科では、講義+演習の科目は、両者を習得して単位を与えているため、講義または演習のみの単位認定はできない。

単位認定について(3)

(例)

卒業校で 習得した科目	卒業校で 習得した単位数	単位認定を 申請する科目	認定単位数	備考
熱力学	2	熱力学Ⅰ	2	申請可能 3単位の認定申請
熱工学	2	熱力学演習	1	

卒業校で 習得した科目	卒業校で 習得した単位数	単位認定を 申請する科目	認定単位数	備考
微分積分学Ⅰ	2	微分積分学Ⅰ	2	申請可能 6単位の認定申請
微分積分学Ⅱ	2	微分積分演習Ⅰ	1	
微分積分学Ⅲ	2	微分積分学Ⅱ	2	
微分積分学Ⅳ	2	微分積分演習Ⅱ	1	

卒業校で 習得した科目	卒業校で 習得した単位数	単位認定を 申請する科目	認定単位数	備考
機械設計製図	9	機械要素設計製図Ⅰ	1	申請可能 4単位の認定申請
図学	2	機械要素設計製図Ⅱ	1	
		機械工学設計製図	1	
		図学製図	1	

単位認定について(4)

・単位認定の注意点

(2)判定方法の分類

JABEE認定校の卒業者

提出物： シラバス, 教科書, ノート, JABEE認定証の写し

審査を実施し, 学習内容の修得が保証された場合→単位認定

JABEE認定校ではない卒業者

提出物： シラバス, 教科書, ノート

口頭または筆記試験により合否を判定(GW明けを予定)

**必要資料を4月16日(火)までに馬渡教員室まで
持参すること.**

早めに準備を進めて下さい.

単位認定について(5)

・単位認定の注意点

(3) 履修登録について

- ・現在, 3年生であるので, 基本的に1~2年次の必修科目 (選択科目)・**実験実習科目**の単位認定を申請して下さい.
- ・必修, 選択科目では, **必修科目を優先**して申請して下さい. 特に, **専門基礎科目**を優先して申請すること.
- ・申請後に単位が必ず認定されるとは限りませんので, 留年にならないように, 履修登録は慎重に実施して下さい.
- ・単位認定後に履修の必要がない科目の登録削除ができます.
- ・編入生については, 履修登録の上限単位数(22単位)は適用されない(理工学部で何を学ぶか(H.29) pp. 116 は適用されない)

締め切りなど重要事項

- 外国語科目(英語)

オリエンテーション資料に従い、プレースメントテストを受ける。

- 基本教養科目

4/5(金)17:00まで:基本教養科目受講希望申請書を提出
(学生センター出入口・学部別の「レポートボックス」まで)

抽選結果:4/9(火)10:00頃に「LiveCampus」を通じて発表

追加登録:4/9(火)10:00~4/12(金),修正・削除を含む

- 専門周辺科目履修登録

4/4(木)~4/5(金)18:00まで:学生センター理工教務で登録
(LiveCampusからは登録できない)

- 専門科目の単位認定

4/10までに単位認定科目希望調査用紙を馬渡レポートBOXに提出

4/16までにシラバス,教科書,ノート等を馬渡の居室に持参

全学統一英語能力テスト(TOEIC IP)

- 日時:2019年6月22日(土)10:00~12:00(入室完了9:20)

※原則として,6月22日(土)に受験すること.

ただし,やむを得ない事情(病気,けが,忌引き等)で受験できない場合のみ,予備日(6月29日(土))に受験可.

- 試験会場:本庄地区(予備日も同じ)

※試験室については,試験日の一週間前頃掲示等で通知.

※ 費用は大学が負担.

ノートPCの購入について

ノートPCの使用

- ✓ 3年次「創造工学演習」でのCAD-CAEシステムによるデザイン演習
- ✓ 「機械工学実験I」「機械工学実験II」でのデータ整理と課題プレゼンテーション
- ✓ 4年次「卒業研究」での卒業論文作成, 卒業研究発表

ノートPCの主な要求仕様(配布資料を参考)

- ハードウェア
- オペレーティングシステム
- ソフトウェア(セキュリティソフト, Microsoft Office)
- その他(盗難・故障等の保険に加入することを推奨)

※ノートPC 担当: 只野先生